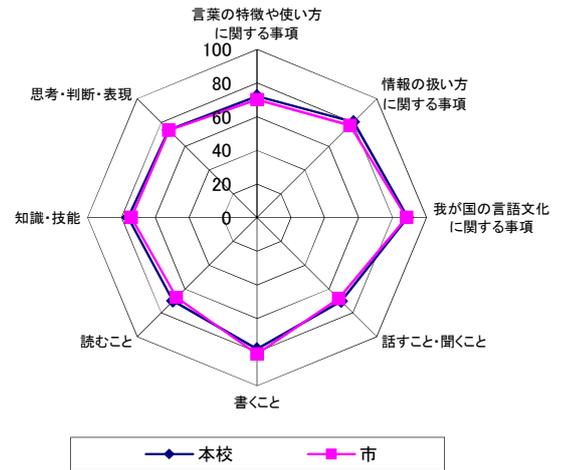


宇都宮市立雀宮中学校 第3学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

領域別	観点別	本年度		
		本校	市	参考値
領域別	言葉の特徴や使い方に関する事項	72.2	70.2	64.7
	情報の扱い方に関する事項	80.6	77.6	71.1
	我が国の言語文化に関する事項	88.9	88.3	79.1
	話すこと・聞くこと	70.4	68.2	67.4
	書くこと	78.2	81.1	71.7
	読むこと	70.1	67.2	61.3
観点別	知識・技能	76.1	74.2	67.9
	思考・判断・表現	73.7	73.5	67.0

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方に関する事項	平均正答率は、市の平均より2ポイント上回っている。 ○漢字は、小学校までの読み書きはしっかり身につけている。ほとんど市の平均を上回っている。また、助動詞、類義語、敬語に関しても市の平均を上回っている。 ●第3学年までに学習した漢字は正しく読む力が弱い。	・漢字や文法の知識を確実にするために、小テストを実施したり、難しい単語の意味を調べたり、丁寧に説明したりしながら、基礎知識を身につける。
情報の扱い方に関する事項	平均正答率は、市の平均より3ポイント上回っている。 ○情報と情報との関係について理解し、論理の展開の仕方を捉える力は、市の平均より4.2ポイント上回り、情報と情報との関係について理解し、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫する力は、市の平均より、1.6ポイント上回っている。	・教科書以外の文章や情報に触れさせる機会を増やし、多くの情報を捉えることで必要な内容を理解し、活用する力を育てる。
我が国の言語文化に関する事項	平均正答率は、市の平均より0.6ポイント上回っている。 ○現代語訳を手掛かりに古典を読む力が、市の平均より2.3ポイント上回っている。 ●歴史的仮名遣いについての理解は、市の平均より1ポイント下回っている。	・歴史的仮名遣いの基本的な知識を確認しながら古文を音させし、現代語訳や注釈を参考にして内容の概要をつかめられるように指導していく。
話すこと・聞くこと	平均正答率は、市の平均より2.2ポイント上回っている。 ○自分の考えがわかりやすく伝えるように表現を工夫するしているでは、5.6ポイント上回っている。また、話の展開を予測しながら聞き、自分の考えを深めているでは、2.8ポイント上回っている。 ●話の展開を予測しながら聞いているでは、1.6ポイント下回っている。	・話し合いの内容や話の内容を的確に捉えて、話したり、相手の発言に注意しながら聞いたりしながら、自分の考えをまとめる力を身につけさせる。また、相手の発言に疑問点がある場合には、質問するなど自分の考えとの相違点や共通点を整理できるように指導する。
書くこと	平均正答率は、市の平均より2.9ポイント下回っている。 ○情報と情報との関係について理解し、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫しているは1.6ポイント上回っている。 ●自分の考えを明確にして書くは9ポイント、2段落構成で書くは6.4ポイント、指定された長さで文章を書くでは、3ポイント下回っている。	・資料の読み取り方をわかりやすく説明し、授業において読み取った情報をもとに、自分の考えの根拠を明確にししながら自分の考えが伝わるように文章を工夫し表現できるように書く練習を繰り返し行う。
読むこと	平均正答率は、市の平均より2.9ポイント上回っている。 ○説明的な文章の論理の展開について評価しているでは5.8ポイント、文学的文章を読んで考えを広げたり深めたりしているでは、2.9ポイント、文学的文章の展開の仕方を理解しているは2.5ポイント上回っている。	・説明的な文章では、接続表現に着目しながら、文章に表現されている語句に注意しながら、ものの見方や考え方を捉え読み進めるように指導する。また、文学的文章はいつ、どこで、だれが、何をしたなど、登場人物の言動や行動に注意して内容を読み取るように指導する。